



本多 俊昭

[令和創生の会]

介護ボランティアポイント制度導入は 女性議会（模擬議会）開催は

問 介護ボランティアポイント制度導入に向けて取り組む考えについて伺う。

答 市民の皆様が主体的に関わっていただき、誰もが住み慣れた地域で、健康で生きがいを持って生活が続けられるための体制の整備に取り組んでいる。その中で介護ボランティアポイント制度が有効な施策と見込まれるのであれば、導入も視野に入れるべきと考える。今後、先進自治体の実施状況を参考とし研究していきたい。

問 女性議会（模擬議会）開催に取り組む考えにつ

いて伺う。

答 女性の権利や考えを大切にする「女性会議」は、世界的にも国内でも、かねてから毎年開催されていることを承知しているが、あえて「議会」という言葉を冠した会議や懇談会を、市が主体となって女性だけを対象として開催することが望ましいかどうか、少し考えてみる必要がある。女性の皆さんの考えや意見を大切にしたいという思いはあるが、提案のあった「女性議会」については、現在のところ考えていない。

一般廃棄物最終処分場の許容量と予定比率は

冠木地区周辺を商業エリアにした理由は



加藤 建也

[無所属]

問 現在の処分場の許容量と予定比率について伺う。

答 安達地方広域行政組合によると、東和クリーンヒルの埋立容量は約10万3千立方メートルであり、平成30年度までの埋立量が約6万5千立方メートルで、現在約63%が埋立されており、将来の見込みについては、この先10年程度埋立が可能であると見込んでいるとのこと。

問 (仮称)メガステージ二本松の建設地周辺を商業エリアにした理由を伺う。

答 下成田土地区画整理事業区域として平成6年に

都市計画決定されたが、区画整理事業が権利者の合意形成の困難や社会情勢の悪化により中止になり、区画整理の都市計画区域の廃止手続きを進めるうえで、駅南・下成田地区のまちづくり計画を策定することとなった。平成17年に地元住民による「まちづくり協議会」が発足し、平成22年に住居地域及び商業利用も可能な準工業地域の一部を商業地域とすることなどを盛り込んだ基本構想が策定された。



佐藤 源市

[市政刷新会議]

文化財の保護及び防災対策は

ため池の放射性物質対策(除去)の取組みは

問 指定文化財の管理状況及び防災対策は。

答 毎年立ち入り検査で防災体制の確認、指導を実施。防災に係る設備、修繕への助成制度を広く周知し、災害から守るための支援をしていく。

問 今年度の対策工の進捗状況について伺う。

答 今年度計画の12ヶ所は放射性物質対策工業務の発注を終え、5ヶ所は堆積土砂の撤去低減化が概ね完了、令和2年度に対策工を予定の35ヶ所の実施設計は今年度内に完了する。

問 放射性物質の除去状況及び次年度計画は。

答 監督員立合いによる厳正な施工管理に努め、施工後の放射性セシウム濃度は、基準値である8,000ベクレルを下回っている。また次年度はため池35ヶ所の対策工業務を発注する計画で、管理者及び受益者へ説明を行っている。



針道夏無沼対策工実施の様子

教員の変形労働制は学校に相応しくない

福祉センター全体改修などの計画は



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

問 労働基準法では、労使協定が前提で、地方公務員への適用を想定せず、学校現場に相応しくない制度と考えるが、教育長の所見は。

答 教育の現場に導入するには、いくつか課題があると指摘されていることを承知をしており、本市で導入する考えはない。

問 学校の働き方改革は、子どもと向き合える教職員の労働環境改善と考えるが、この間、具体的にどのようなことが行われているか。

答 新学習指導要領全面実施後は、小学校において

授業時数が増加し、時間割に余裕がなくなることが予測されており、市主催の行事の見直しについて検討を進めている。

問 福祉センターの老朽化の修繕は、公共施設の管理計画の中で行われているのか。

答 管理計画の基本方針に基づいて、日常点検、定期点検を実施し、予防保全に努めている。

問 建て替えを含めた全体改修の計画は。

答 築年数、定期点検による診断等に基づき、今後個別施設計画策定も含め検討していきたい。



斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

市施設の電力料金削減と卒F I T対策は

台風19号二本松の雨量と水位は

問 平成28年「電力の全面自由化」により、自由に「新電力」会社を選ぶことができることになった。入札の結果と今後の方針及び電力の固定価格買取制度（F I T）満了後の方針は。

答 268施設の入札を行った結果、従来の東北電力の年間電気料金で算出した予定価格に対し7,560万円、27.8%の削減。削減額の多い施設は、本庁及び各支所920万円、小中学校2,950万円、城山総合体育館460万円、城山市民プール536万円で、今後は指定管理を行っている施設（市が

民間に委託・道の駅等）に、新電力導入の要請をしていく。固定価格買取制度（10年間）が11月から順次満了となり、二本松では今後5年間で500件が満了予定である。安い電力の仕入れ先として（仮称）二本松電力が小売事業を展開した場合に検討したい。

問 二本松市での10月12、13日の豪雨の実態は。

答 雨量は二本松観測所191.5ミリ、安達170ミリ、岩代246ミリ、東和246ミリ。安達ヶ原水位は13日午前4時50分過去最大の12.8m。

夏休み中の学校プールの有効利用は

小・中学校周辺の歩道の整備は



平塚 與志一

[真誠会]

問 夏休み中の各小・中学校プールの使用状況は。

答 プールを解放した学校は全て小学校で、岳下、安達太良、原瀬、大平、渋川、川崎、東和小学校の7校である。

問 市内小・中学校において、学校から2km以内の通学路の歩道設置状況は。

答 整備率は28.6%である。

問 岳下小・杉田小の北側は歩道が設置されておらず、早急な整備が必要だと思うが、市の考えは。

答 岳下小前は用地買収に着手しており、杉田小周

辺についても歩道付道路を整備している。

問 歩道設置の優先順位はどのような考えか。

答 通学路の安全点検の結果及び交通量等を見ながら、危険度を判断し優先度を検討している。

問 現在ある歩道を改良するより、歩道のない学校周辺の歩道設置を優先すべきと思うが、市長の考えを伺う。

答 小・中学校周辺の歩道未設置場所については、優先度が高いと認識している。